

家族の絆を深める想いの相続を！
月刊ニュースレター

想 続

Vol.2 (2010年11月1日)

発行：一般社団法人 日本想続協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-4-1 岡野ビル 4F

TEL 03-3404-1225 FAX 020-4664-9664

E-mail info@uchida-ac.com (担当：内田)

☆定期購読（無料）をご希望の方は上記へどうぞ！

円満想続の3点セット

「円満な相続をされるご家族には、3つのK—感謝・絆・供養—がある」というお話しを前回させていただきました。では具体的に、家族の絆を深め、感謝の気持ちで将来の相続を迎えるには、どうしたらよいのでしょうか？

私が提唱しているのは、「円満想続の3点セット」です。

☆☆☆

第1にお勧めしたいのは、「家訓づくり」です。家訓というと、時代劇に出てくるような武家や商家に代々伝わるもの、というイメージがあるかもしれませんが。では社訓ならどうでしょうか。きっとあなたの会社にもありますね。なぜ社訓があるかということ、組織の全員が価値観を共有するためです。同じように、家族にも価値観の共有が必要なのです。あなたにも、これまでの人生のなかで、父として、母として、ひとりの人間として、大切にしてきた価値観、人生観があるのではないのでしょうか。そして子や孫には、より良い人生を送ってもらいたい、そう願っています。そのために伝えていきたいことを、気取らずに、自分の言葉であらわしてみましょ。それが我が家の家訓です。たとえば、「笑顔で挨拶をしよう」「感謝の気持ちを忘れずに」「プラス思考でいこう！」などなど、まずは好きな言葉を自

由に書き出してみましよう。家族みんなで話し合いながらつくれるといいですね。家訓が
できたら、玄関やトイレ、ダイニングなど、皆の目にとまる場所に飾ってみましよう。小さな
カードをつくって、家族みんながいつも持ち歩くのもいいかもしれません。きっと、人生で
大切なことを家族で話し合う機会が増え、家族の絆がより深まることでしょう。

☆ ☆ ☆

第2にお勧めしたいのは、「自分史づくり」です。自分史というと、「別にこれといって特
別な体験もないし…」と思われるかもしれませんが。たしかに、「ゲゲゲの鬼太郎」の水木
しげるのように、戦争で片腕を失い極貧生活から漫画家として大成功する、といった経
験をお持ちの方は、そうそういません。自分史で伝えるのは、そんな特別な経験ではなく
て、自分のありのままの魅力や個性です。これまでの人生のなかで、どんな師や友との
出会い、どんな経験が、いまのあなたを形づくってきたのでしょうか。嬉しかったこと、悲し
かったこと、感動したこと、いろいろありましたね。それを少しずつ思い出してみましよう。
時系列でなくてもかまいません。一番心に残っていること、書きたいところから、気楽に
書きはじめてみましよう。また、自分で書くのではなく、「聴き書き」という方法もあります。私
は弟と妹の3人兄弟なのですが、母の古希(70歳)の長寿祝いに、母の自分史をつく
ることにしました。皆で実家に集まり、3人で母にインタビューして、分担して原稿を書き、
母から昔の写真を預かりました。これから編集して小さな冊子にまとめる予定です。母が
これまでどんな人生を歩んできたのか、どんな思いで私たち子供を育ててくれたのかを知
り、それを兄弟で共有することができて、とても貴重な経験でした。

☆ ☆ ☆

第3にお勧めしたいのが、「遺言を書くこと」です。「うちにはたいした財産もないし、うちの子供たちに限って相続でもめるはずはない」と思っている方が多いのですが、相続はなにも資産家だけの問題ではありません。自宅と預金が少々という、ごく一般的なご家庭でも、「争続」になってしまうことがあるのです。あるいは争いを避けて、兄弟で共有にしたばかりに、後々面倒なことになるケースも多々あります。妻や子供たちに財産をどのように受け継いでもらいたいかについて、遺言で意思表示しておきましょう。特に遺言をつくったほうがいい方は、①民法で定める法定相続分以外の割合で相続させたい方、②子供がいない方、③子供が未成年の方、④配偶者がいない方、⑤離婚や再婚をしている方などです。遺言は、元気なときにつくるものです。認知症になってしまったら、つくれません。つくったあとも、家族や財産の状況が変わったら、いつでも作り直すことができます。遺言には「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」がありますが、紛失などの心配のない「公正証書遺言」のほうが安心です。また付言事項として、家族への感謝の気持ちや、財産分けの理由などを述べておくといいでしょう。

円満相続の3点セット、まずは「家訓づくり」と「自分史づくり」からはじめてみてはいかがでしょうか。

(税理士 内田 麻由子)

【参考図書】 浅見政資 『家訓づくりのすすめ』 (東洋経済新報社)
齋藤孝 『いますぐ書きたくなる 齋藤式自分史の書き方』 (どりむ社)